

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成25年5月15日
【四半期会計期間】	第35期第1四半期（自平成25年1月1日至平成25年3月31日）
【会社名】	グリーンランドリゾート株式会社
【英訳名】	GREENLAND RESORT COMPANY LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江里口 俊文
【本店の所在の場所】	熊本県荒尾市下井手1616番地
【電話番号】	0968-66-2111
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 渡邊 和雄
【最寄りの連絡場所】	熊本県荒尾市下井手1616番地
【電話番号】	0968-66-2111
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 渡邊 和雄
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第1四半期連結 累計期間	第35期 第1四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自平成24年 1月1日 至平成24年 3月31日	自平成25年 1月1日 至平成25年 3月31日	自平成24年 1月1日 至平成24年 12月31日
売上高(千円)	1,446,063	1,623,325	7,635,507
経常利益(損失)(千円)	115,901	21,856	205,435
四半期(当期)純利益(損失)(千円)	91,919	26,654	127,237
四半期包括利益又は包括利益(千円)	82,049	50	135,963
純資産額(千円)	9,971,538	10,128,145	10,169,066
総資産額(千円)	21,657,551	21,761,555	21,676,754
1株当たり四半期(当期)純利益(損失)金額(円)	9.00	2.61	12.45
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	46.0	46.5	46.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当社グループにおきまして、1月から3月の第1四半期連結累計期間は季節的に年間の中で特に売上が少なく、損益面でも例年損失が出ている時期です。

当第1四半期連結累計期間におきましては、遊園地セグメントにおける入園者の増加等により対前年増収となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,623,325千円（前年同期比12.3%増）となりました。

損益面につきましては、損失幅が減少し好転した結果、営業損失は15,705千円（前年同期比82,362千円の損失減）、経常損失21,856千円（前年同期比94,045千円の損失減）、四半期純損失は26,654千円（前年同期比65,265千円の損失減）となりました。

	前第1四半期 連結累計期間 (千円)	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	1,446,063	1,623,325	177,262	+12.3
営業損失()	98,068	15,705	82,362	-
経常損失()	115,901	21,856	94,045	-
四半期純損失()	91,919	26,654	65,265	-

次に、報告セグメントごとの業績は次のとおりです。

遊園地セグメント

昨年に引き続き北海道のスキー事業における豪雪等の悪条件があったものの、九州の遊園地では期間を通して順調に推移し、特に3月の春季イベントは活況で、最新のキャラクター起用による集客増や、3月が例年に比べて暖かかったことも奏功し、当セグメントの売上高は前年同期比147,988千円増収（+23.9%）の767,802千円となり、営業利益は前年同期比58,751千円増益の51,256千円となりました。

ゴルフセグメント

3ゴルフ場におきましては、相互施設利用契約締結による集客強化や最近の為替動向が円安であることなどにより、韓国からのプレーヤーが増加したものの、周辺ゴルフ場との競争がますます激化し、当セグメントの売上高は前年同期比11,562千円減収（-5.1%）の216,186千円となりました。損益面につきましては、さらなる経費節減に努めた結果、営業損失は前年同期比607千円損失減の25,534千円となりました。

ホテルセグメント

九州・北海道のホテル共に、婚礼利用者数の減少等により、ホテルセグメントの売上高は前年同期比29,773千円減収（-6.4%）の432,285千円となり、営業損失は前年同期比7,448千円損失増の40,087千円となりました。

不動産セグメント

不動産セグメントにおきましては、土地賃貸収入はほぼ前年並みの40,704千円となり、営業利益は前年同期比4,314千円（+16.7%）増益の30,133千円となりました。

土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントにおきましては、受注工事が当連結累計期間へ時期がずれたこと等により対前年増収となり、売上高が前年同期比71,348千円増収（+83.2%）の157,130千円となり、営業利益は前年同期比23,236千円増益（+135.3%）の40,415千円となりました。

その他のセグメント

当セグメントにつきましては、ほぼ前年並みで売上高は9,216千円となり、営業利益は前年同期比681千円増益（+78.5%）の1,548千円となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産

流動資産は、904,474千円（前連結会計年度末比130,145千円増加）となりました。主な要因は、現金及び預金で173,082千円増加したことによるものであります。

固定資産

固定資産は、20,857,081千円（前連結会計年度末比45,343千円減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の減価償却等で77,591千円減少したことによるものであります。

流動負債

流動負債は、4,817,023千円（前連結会計年度末比263,816千円増加）となりました。主な要因は短期借入金で145,211千円、営業未払金で171,841千円増加したことによるものであります。

固定負債

固定負債は、6,816,387千円（前連結会計年度末比138,093千円減少）となりました。主な要因は長期借入金で61,398千円、長期預り金で60,300千円減少したことによるものであります。

純資産

純資産は、10,128,145千円（前連結会計年度末比40,920千円減少）となりました。主な要因は利益剰余金で67,524千円減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年5月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,346,683	10,346,683	大阪証券取引所(市場第 二部) 福岡証券取引所	・権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式 ・単元株式数 100株
計	10,346,683	10,346,683	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年1月1日～ 平成25年3月31日		10,346,683		4,180,101		4,767,834

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 129,100	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 10,216,800	102,168	-
単元未満株式	普通株式 783	-	-
発行済株式総数	10,346,683	-	-
総株主の議決権	-	102,168	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式（失念株式）が300株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
グリーンランドリゾート(株)	熊本県荒尾市下井手 1616番地	129,100	-	129,100	1.25
計	-	129,100	-	129,100	1.25

（注）上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が100株あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」に含まれております。

2 【役員 の 状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	313,970	487,053
受取手形及び売掛金	259,000	220,537
商品及び製品	43,159	15,490
原材料及び貯蔵品	52,803	43,652
販売用不動産	7,130	7,130
繰延税金資産	18,923	18,294
その他	98,136	130,573
貸倒引当金	18,795	18,257
流動資産合計	774,329	904,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,626,155	4,566,598
機械装置及び運搬具(純額)	482,309	468,346
土地	14,782,352	14,782,788
その他(純額)	123,858	119,350
有形固定資産合計	20,014,676	19,937,084
無形固定資産		
その他	245,707	245,055
無形固定資産合計	245,707	245,055
投資その他の資産		
投資有価証券	199,079	240,282
繰延税金資産	325,195	310,067
その他	119,044	125,871
貸倒引当金	1,279	1,279
投資その他の資産合計	642,040	674,941
固定資産合計	20,902,424	20,857,081
資産合計	21,676,754	21,761,555

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,953	57,639
営業未払金	84,680	256,521
短期借入金	3,920,380	4,065,591
未払金	245,626	277,229
未払法人税等	85,697	21,234
賞与引当金	-	18,059
その他	136,869	120,748
流動負債合計	4,553,206	4,817,023
固定負債		
長期借入金	3,209,674	3,148,276
長期預り金	3,536,111	3,475,811
退職給付引当金	13,768	10,029
役員退職慰労引当金	42,538	-
その他	152,388	182,269
固定負債合計	6,954,481	6,816,387
負債合計	11,507,687	11,633,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,274,342	1,206,818
自己株式	42,247	42,247
株主資本合計	10,180,030	10,112,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,964	15,638
その他の包括利益累計額合計	10,964	15,638
純資産合計	10,169,066	10,128,145
負債純資産合計	21,676,754	21,761,555

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,446,063	1,623,325
売上原価	1,396,203	1,494,699
売上総利益	49,860	128,625
販売費及び一般管理費	147,928	144,331
営業損失()	98,068	15,705
営業外収益		
受取利息	112	40
受取配当金	480	495
受取賃貸料	1,840	1,958
受取保険金	-	12,020
助成金収入	1,934	550
受取補償金	2,586	-
雑収入	762	670
営業外収益合計	7,717	15,735
営業外費用		
支払利息	25,154	21,603
雑損失	395	282
営業外費用合計	25,550	21,885
経常損失()	115,901	21,856
特別利益		
固定資産売却益	317	7,590
補助金収入	-	2,967
特別利益合計	317	10,558
特別損失		
固定資産除売却損	32	545
特別損失合計	32	545
税金等調整前四半期純損失()	115,617	11,843
法人税、住民税及び事業税	7,365	13,652
法人税等調整額	31,062	1,158
法人税等合計	23,697	14,810
少数株主損益調整前四半期純損失()	91,919	26,654
四半期純損失()	91,919	26,654

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	91,919	26,654
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	9,869	26,603
その他の包括利益合計	9,869	26,603
四半期包括利益	82,049	50
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,049	50
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

保証債務

銀行提携ゴルフローン契約先の会社等の金融機関借入金について、次のとおり保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計年度 (平成25年3月31日)
ゴルフ会員権購入資金	11,082千円	10,100千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
減価償却費	104,872千円	99,324千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	40,871	4	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	40,870	4	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建 設資材事 業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	619,814	227,749	462,059	41,758	85,781	8,900	1,446,063	-	1,446,063
セグメント間の内部売上高 又は振替高	934	5,163	13,280	3,654	3,573	21,011	47,616	47,616	-
計	620,748	232,912	475,339	45,413	89,355	29,911	1,493,680	47,616	1,446,063
セグメント利益又は損失()	7,494	26,142	32,638	25,818	17,178	867	22,411	75,656	98,068

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 72,597千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建 設資材事 業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	767,802	216,186	432,285	40,704	157,130	9,216	1,623,325	-	1,623,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,009	2,851	13,827	5,612	8,463	17,843	49,606	49,606	-
計	768,811	219,037	446,112	46,316	165,593	27,059	1,672,932	49,606	1,623,325
セグメント利益又は損失()	51,256	25,534	40,087	30,133	40,415	1,548	57,731	73,437	15,705

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 71,070千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり四半期純損失金額()	9.00円	2.61円
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	91,919	26,654
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	91,919	26,654
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,217	10,217

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年5月13日

グリーンランドリゾート株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 宏文 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 金子 一昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているグリーンランドリゾート株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、グリーンランドリゾート株式会社及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。